

スポンMV50（異種管接続仕切弁）受口施工手順

適用製品名：MPX-MP-V ソフト、MD-V ソフト、MWX-MW-V ソフト、

旧施工手順書はこちら



塩ビ管・鋼管用

MPX-MP-V メタル、M メタル（すべてV側）

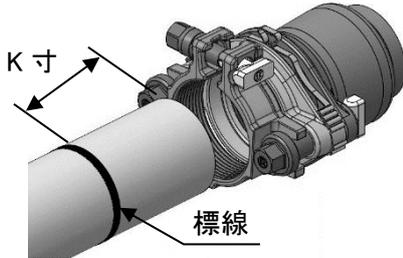
注) 分解せずに接合して下さい。

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

〔パイプ切断のカエリは取り除いてください。〕
〔滑剤の塗布は不要です。〕

※「K 寸の表」参照



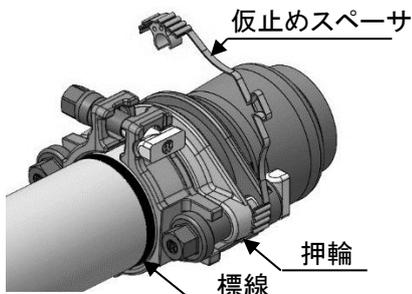
□K 寸の表 (mm)

呼び径	K $\begin{matrix} +5 \\ -0 \end{matrix}$
50	110

②パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサ**を取り外します。

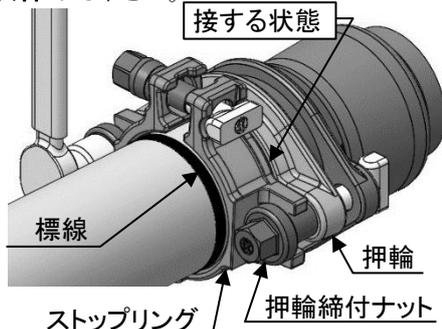
〔仮止めスペーサが外れにくい場合は押輪締付ナットを少し緩めて下さい。〕
〔仮止めスペーサを先に外しても施工は可能です。〕



③パイプ仮固定

ストップリングは**押輪**と接した状態で**標線**に合せます。

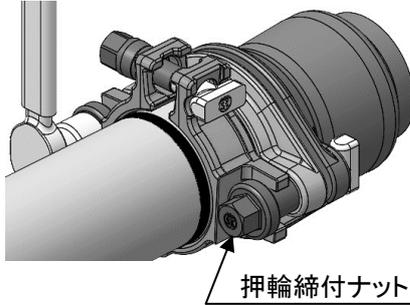
パイプが仮固定するまで、**押輪締付ナット**を軽く締めて下さい。



④押輪本締め

押輪締付ナットを、**数回にわたり均等に本締め**して下さい。

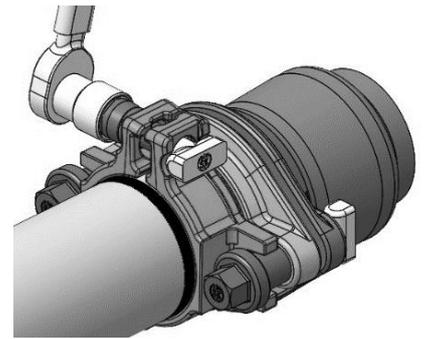
※「標準締付トルク表」参照



⑥ストップリング本締め

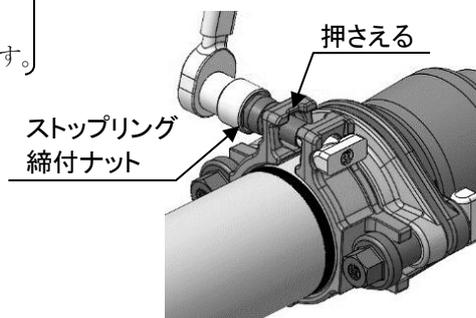
塩ビ管の場合はストップリングの**先端があたるまで締付ナットを本締め**して下さい。

※鋼管の場合は「標準締付トルク表」参照、先端はあたりません。



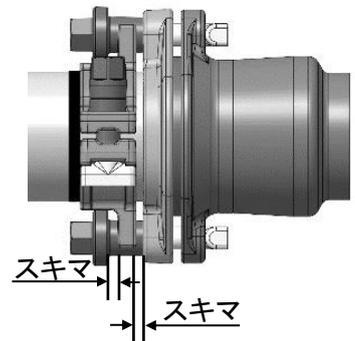
⑤ストップリング仮締め

ストップリングを**標線**に合わせた状態で、ストップリング上部を**押さえる**ながら、ストップリング締付ナットを締め付けて下さい。



⑦施工完了

ストップリング両端に「スキマ」が保たれていることを確認して下さい。



□標準締付トルク表 [N・m]

呼び径	押輪	ストップリング	
	塩ビ管・鋼管	塩ビ管	鋼管
50	35~ 40 ~60	ストップリング先端があたるまで締めてください。	50 ~70

※太字：下限値 押輪は基準値

5
10
15
20
25
28